

教育理念「高い志 科学する心 未来を拓く力」



—レル



県立日立第一高等学校
附属中学校
学校だよりNo.163
令和8年2月3日
生徒数240名

教育目標:高い志を持ち、優れた資質と豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献する人材を育成する。

2月

統・「自由」について考える

校長 細貝 雅之

先月は、「自由」と「自律」について考えました。人は「自由」にあこがれる反面、自分で決断できずに誰かに頼りたくなったり、周囲に同調することで安心したくなったりします。

それは、「自由」な決断には、結果に対する「責任」がついてくるからです。今日は、「自由」と「責任」について、20世紀フランスの哲学者サルトルの思想を手がかりに、深掘りしてみたいと思います。

サルトルには、「実存は本質に先立つ」という有名な言葉があります。例えば、ハサミは、作られたときに、「人が紙を切るための道具」という「本質（それが何であるか、という根本の性質）」が決まっています。一方、人間は、生まれたときはまだ何者でもありません。その後の行為によって、正直者にも嘘つきにも、勇者にも卑怯者にもなります。中学生の頃は、「どんな人間か」という本質が作られている最中です。将来、どんな職業に就き、どんな考え方を持ち、何を大切にして生きる人になるか、まだわかりません。どんな人間にでもなれる、自分自身の本質を自分で選ぶことができるという意味で、皆さんは「自由」なのです。



自由な意志によって決めたことの責任は、自分で背負わねばなりません。そこには当然、孤独感や、不安がつきまといます。サルトルは、「人間は自由の刑に処せられている」と言いますが、自由であることは楽なことではないのです。その上サルトルは、自由な決断にともなう「責任」は自分一人にとどまらず、「全人類への責任」がある、と言います。例えば、私が他人のものを盗んだとします。すると、私は、他の人が泥棒をすることを咎められなくなります。自分が泥棒をするということは、他の人が皆、泥棒になることを認めることになる、だから、「全人類への責任がある」というのです。

未来の自分のあり方を自分で選ぶ「自由」は、未来の世界のあり方への「責任」をともないます。人々が互いに尊重し合い、思いやりのある世界を望むなら、まずは自分が、そのように行動しなければなりません。皆さんには、未来を選ぶ自由と責任がある、ということは、未来の世界は皆さんができるということであり、それは未来への希望でもあるのです。

2月の主な予定

5日(木) 委員会活動
6日(金) 3年午前中授業（給食あり）
7日(土) いばらきっ子郷土検定県大会
8日(日) 3年シンガポール語学研修（～13日まで）
10日(火) 第2回PTA全体委員会
11日(水) 建国記念の日
16日(月) 3年振替休業日（2/11分）
20日(金) SSH成果発表会
23日(月) 天皇誕生日
25日(水) 3時間授業（12:10下校、給食・部活なし）
26日(木) 高校学力検査のため自宅学習
27日(金) 高校学力検査のため自宅学習

3月の主な予定

2日(月) 高校学力検査事務のため自宅学習
3日(火) 高校学力検査事務のため自宅学習
5日(木) 振替休業日（3/7分）
6日(金) お別れスポーツレク
7日(土) 授業参観日（弁当持参）
9日(月) 高校学力検査事務のため自宅学習
10日(火) 高校学力検査事務のため自宅学習
16日(月) 卒業式予行
17日(火) 卒業式（3年給食なし）
18日(水) 難関大合格者との懇談会
19日(木) 終業式（午前中のみ）
20日(金) 春分の日
23日(月) 学年末休業日（～4/5）

新しい仲間が決まりました！

1月10日（土）に入学者選抜適性検査を実施し、令和8年度の入学予定者が決まりました。第15期生として、新たに79名が4月から入学することになります。1・2年生にとっては新たな後輩を迎える、上級生としての生活が始まります。3年生にとっては高校生として新たなスタートを切ることになります。2・3月は今年度を振り返って課題を見付けるとともに、進級・進学へ準備をしっかりと行っていく期間です。それぞれが充実した新年度をスタートできるよう、学習面・生活面を見直してほしいと思います。

【出身小学校の市町村別人数】

市町村名	3年生	2年生	1年生	新入生
北茨城	5名 (6.3%)	7名 (8.8%)	5名 (6.3%)	4名 (5.0%)
高萩	4名 (5.0%)	1名 (1.3%)	1名 (1.3%)	3名 (3.8%)
日立	35名 (43.8%)	42名 (52.5%)	42名 (52.5%)	44名 (55.7%)
常陸太田	3名 (3.8%)	1名 (1.3%)	1名 (1.3%)	4名 (5.0%)
東海	5名 (6.3%)	9名 (11.3%)	12名 (15.0%)	7名 (8.9%)
ひたちなか	21名 (26.3%)	13名 (16.3%)	13名 (16.3%)	12名 (15.2%)
水戸	3名 (3.8%)	5名 (6.3%)	4名 (5.0%)	4名 (5.0%)
那珂	2名 (2.5%)	2名 (2.5%)	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)
大洗	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)	1名 (1.3%)	0名 (0.0%)
守谷	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)	1名 (1.3%)
県外から	2名 (2.5%)	0名 (0.0%)	1名 (1.3%)	0名 (0.0%)

インフルエンザB型が流行しています

茨城県では、1月第3週から2週連続でインフルエンザ報告数が増加しています。年代別では、10歳未満及び10代が全体の約80%を占めており、特に10代は1月第4週だけで2倍以上に増加しています。本校でも、2～3年生が学級閉鎖中です。

インフルエンザA型は高熱でせきなどの症状が目立ちますが、インフルエンザB型はおなかが痛くなったり下痢をしたり、もどしてごはんが食べられなくなったりするなど、腹部の症状が目立つそうです。

ご家庭でできる基本的な感染対策として、「マスクの着用」、「手洗い」、「正しいうがい」、「十分な休養とバランスのとれた栄養摂取」、「適切な加湿」などがあります。特に湿度は50～60%を保つと効果的と言われています。

発熱等、具合が悪ければ早めに医療機関の受診をお願いいたします。

